

令和3年度第1回串間市総合教育会議 会議録

日 時：令和3年10月25日（月）15：00～16：30

場 所：市長応接室

出席者：市長、教育長、委員①、委員②、委員③、委員④

教育委員会事務局

〔学校政策課〕 課長、課長補佐、教育指導監

〔生涯学習課〕 課長

事務局

〔総務課〕 課長、課長補佐、総務係長

発言者	発言内容
事務局（課長）	<p>定刻になりましたので、ただいまより令和3年度第1回串間市総合教育会議を開催いたします。私は、本日の会議の進行を務めさせていただきます総務課長の高橋でございます。どうぞよろしく願います。なお、この会議の内容については、会議録を作成いたしまして、公表することとなっておりますので、ご了承いただきたいと思います。それでは、はじめに島田市長からご挨拶をお願いいたします。</p>
市 長	<p>（市長あいさつ）</p>
事務局（課長）	<p>ありがとうございました。続きまして吉松教育長よりご挨拶をお願いいたします。</p>
教育長	<p>（教育長あいさつ）</p>
事務局（課長）	<p>ありがとうございました。それでは早速議題に入らせていただきたいと思います。本日は、3つの議題が用意されております。まず、議題（1）教育に係る令和4年度新規事業案についてであります。学校政策課より説明をお願いいたします。</p>
学校政策課	<p>① 給食費の無償化について                  ② 福島小の長寿命化・大規模改修について                  ③ 給食センター（移転新設）について                  （事業案説明）</p>
事務局（課長）	<p>ありがとうございました。3点の説明がありました。これについて、ご質問、ご意見等ありましたら、よろしく願います。</p>

市長	給食センターにつきましては、老朽化に起因する課題があると考えております。今後、南海トラフ地震も懸念されるなかで、防災施設としての活用も視野に入れた移転、新設について、現在検討しているところであります。
委員①	県内近隣の状況で、だいたい前から小・中学校の給食費を無償化している自治体もあるが、この取り組みによって子育て世代が増えたとかの影響が把握できていれば教えてください。
学校政策課長	先行して導入できた自治体については、人口が少なく児童生徒数が少ないことから予算がつけやすかったということだったと思います。効果については、これで移住が進んだかというのは、この1つの取り組みだけでは、わからないところです。この給食費の無償化は、全国的に約4%から7%ぐらいが全額補助しておりまして、一部補助が約20%ぐらいですので、今後多くの自治体で取り入れられていくのではないかと考えております。
市長	単純に費用の助成だけが教育・子育て支援ではないと考えており、人材育成の視点が必要であると認識しております。よく子供は、国の財産であると言われます。国の財産であれば国がもう少し支援していくべきではないかと考えており、機会あるごとにその要望は伝えています。また、本市としてもふるさと納税が増えれば、優先的に支援していきたいとは考えております。
委員②	保育園では、3歳以上は、無償化になっています。保育園関係の子育て支援については、とても良い取り組みをしていただいていると考えています。しかし、子育て世代の親が少ないというのは問題で、働く場所が少ない等、いろいろな要因はありますが、支援の対象になる世代を増やす取り組みが必要だと思います。
事務局（課長）	今の意見については、後ほど3番目の議題のところでも意見交換して参りたいと思います。他なにかありませんでしょうか。
教育長	今回の案では、市内中学校の3年生を無償化の対象としておりますが、内容をつめて市内に住んでいて市外の中学校に通っている中学校3年生についても支援していきたいと考えております。
委員②	市外の中学校に通っている生徒数ほどのぐらいいるのか。
学校政策課長	毎年小学校から中学校に上がる生徒が130人ぐらいいるなかで、その

	<p>うちの10%ぐらいが、串間中学校ではない私立の中学校に進学している状況です。中学校から高校につきましては、120人ぐらいの卒業生のうち、約半分ぐらいの生徒が福島高校に進学している状況です。</p>
<p>事務局（課長）</p>	<p>他なにかありませんでしょうか。無いようでありますので次の議題に移りたいと思います。</p> <p>議題（2）は、「子どもへの人権教育について」であります。</p> <p>はじめに、総務課から①LGBTに関して簡単に説明をお願いいたします。</p>
<p>総務係長</p>	<p>（説明）</p>
<p>事務局（課長）</p>	<p>ありがとうございました。性的マイノリティに関する、課題や体験等に基づく解決策等ありましたらご意見をお願いいたします。</p>
<p>教育長</p>	<p>先ほど統計上で推計した串間市での小・中学生の性的マイノリティの該当者数については、多いと感じました。串間中学校では、制服について今年度から女子の生徒もズボンを選択してもいいとしており、少しずつではあるが、多様性への対応に取り組んでいるところです。</p>
<p>委員①</p>	<p>私も職場内で性的マイノリティの方と一緒にいた経験や学校現場で、見かけは女性だが、心は男性という生徒や、スカートを履きたいという男子生徒もいて保護者が相談に来たケースもありました。その際は、その子の思いを大事にしてあげればいいのかと対応しました。</p> <p>私は、先ほどの統計上の人数以上に串間市に性的マイノリティの方はいるのでないかと考えています。人間には波があると思います。男らしいとか女らしさとかではなく、一人一人を大切にするという育て方をしていた方がいいのではないかと考えています。</p>
<p>委員③</p>	<p>LGBTは最近、話題になってきている。これに関しては、まず、理解することが必要ではないかと考えています。私も統計上の人数ぐらい性的マイノリティの方がいるのではないかと考えています。私たちの世代ではあまり、このような話は、表に出さない風潮があったので、そういう方も言わなかったでしょうが、今は、以前に比べて少しだけ表に出しやすい環境になってきていると思います。表に出すと子ども達であれば、いじめが一番心配なことだと思う。我々の世代は、LGBTに関する教育は受けてきていない時代でした。保護者や関係者がしっかりLGBTについて理解しないと子どもに間違った伝え方をしてしまう可能性があると思いますので、保護者の教育も大事になってくるのではないかと考えています。</p>

委員④	<p>福島小学校の1年生は同じ帽子を使っているが、本城小学校の1年生は男子、女子で別々帽子を使っている。もし、男女を区別しない方針をとるのであれば、串間市全体で統一して取り組むべきではないかと思えます。</p>
教育長	<p>私もこの間、気づいて違和感がありました。統一した方がいいものと考えていますが、地区で行っている部分もあるようなので、市民会議のなかで提案していきたいと思えます。</p>
事務局（課長）	<p>委員④の意見については、前向きに対応すべきではないかと思えます。他にありませんでしょうか。</p>
委員②	<p>保育園で男の子がスカートを履いてきた事例がありました。その時の対応として、頭ごなしに男の子がズボンで、女の子はスカートだと言うわけにもいかなかったところです。まず、最初に性に対する目覚めから始まって、それが憧れに変わっていったという流れではないかと思えます。LGBTに関しては、昔と違ってどんどん変わってきている。色々な子どもがいて色々な保護者がいるなかで柔軟に対応する方法を考えていかないといけないと思えます。</p>
教育長	<p>私も性的マイノリティの中学校生徒と接した体験があります。しかし、その生徒の周りの友達は、それに対して違和感なく接していました。その時に子ども達は多様性を受け入れる柔軟性を持っていると感じたところで、私たちが心配している以上に子ども達はきちんと受け入れられるのではないかと考えています。それよりも先ほどあったように保護者への教育というのが大事になると思えます。</p>
事務局（課長）	<p>色々な意見が出ましたが、市長からなにかございませんでしょうか。</p>
市長	<p>LGBTへの理解促進は重要なテーマであると考えております。私は、これまで私たちが過ごしてきた時代とは変化していることを認識しなければならぬわけであり、自分の生き方というのを子どもときから主張していくことが大切だと感じております。串間市でもそういった自分の考え方を気がねなく話せる環境づくりを更に整えていく必要があると思っております。これからは、個性を活かすことのできる環境づくりや支援を充実していかななくてはならないと考えています。また、委員からも意見がありましたように、保護者への情報提供や学びの機会を提供することで、保護者と子供と一緒に考えていけるような環境にしていくべきではないかと考えています。これは、重要な課題ですので、みんなで意見を出し合いながらみんなが幸せになれる地域社会づくりに取り組んでいきたいと思えますので、よろしくお願ひいたします。</p>

事務局（課長）	<p>ありがとうございます。市長が推進しますSDGsの理念のなかにも誰一人取り残さない社会というのが掲げられておりますので、本日意見がありました保護者のLGBTに関する理解促進についても進める必要があることが確認されたものと思います。他にないかありませんでしょうか。</p>
市長	<p>南海トラフ地震に備えて女性の消防隊員の必要性を議論しましたが、消防本部からは、女性用の設備を充実させるべきであるとの意見がありました。これからの社会においては、あらゆる分野において女性登用は必要になってくると考えております。例えば、男性が中心と考えられていた職場のトイレ等の整備にしても社会全体で考えていかなければいけないと思いますので、教育委員におきましてもご助言、ご指導をいただければと思っております。</p>
教育長	<p>串間市で男女別ということについては、出席簿について、全小・中学校で2年ぐらい前から男女混合になっております。</p>
事務局（課長）	<p>今、教育長からありましたように串間市においてもまずは、できることから様々な取り組みを行っているということでございます。他にありませんでしょうか。ないようですので、次に、②新型コロナウイルス感染症に伴う人権問題について意見交換を行いたいと思います。まず、総務課から簡単な説明をお願いいたします。</p>
総務係長	<p>（説明）</p>
事務局（課長）	<p>ありがとうございました。全国の事例や串間中学校の取り組み等の紹介がありました。なにかコロナに関連する人権問題についてどう対応していくべきか等、ご意見、要望等ございましたらよろしく願いたいと思います。</p>
委員①	<p>串間市に感染者が出たときに市長自ら防災無線で呼びかけをされたことはとても市民に響いたと思っておりますので、今後、感染者が出た場合もお願い出来ればと思います。</p>
市長	<p>誹謗中傷の例として、近隣自治体でコロナの感染者が出た際に多くの誹謗中傷があったという情報が流れましたが、実際にはそこまでの誹謗中傷はなかったとのことでした。SNSを通し励ましのメッセージも多くあったりしたことで凄く助かったとの話も聞きました。これは、感染者が発生した時の対応がしっかりしていたからだと思います。すなわち、コロナの感染者が発生したときには、正確な情報の発信に、特に気を配</p>

<p>教育長</p>	<p>らなければいけないと再認識しているところです。</p> <p>県南地区でワクチン接種が遅れているという情報があり、それに伴う誹謗中傷もあったところですので、そういった部分でも誹謗中傷が出ないような対策をしていかなければならないと思っております。そのような中で串間中学生がシトラスリボンを作成してくれて、「差別、偏見をすることはありません。」と宣言してみんなで助け合おうとしてくれたのは凄くありがたかったところです。</p> <p>串間でもコロナの感染者が確認されましたが、幸いにも小・中学生には誰一人いなかったということで、本当に良かったと思っております。これは家庭内で、しっかり感染対策をしてもらったことや、学校内での消毒等の取り組みがあったからだと考えております。スポーツにおける遠征等の相談もあったところですが、関係者の皆様にはご理解・ご協力をいただき、遠征等を控えてもらった経緯があります。先ほど委員からもありましたけれども、市長からの防災無線によるメッセージはたいへん効果的だったと思います。</p>
<p>委員①</p>	<p>ワクチンの接種状況を教えてください。</p>
<p>事務局（課長）</p>	<p>確認のうえ、後ほどご報告いたします。</p>
<p>委員②</p>	<p>感染が確認されたことにより、その親族にまで影響が出た話もあります。</p> <p>ワクチン接種に関しては、基本的には個人の選択ではあるが、子どもを守るためにも保育士、先生等には、接種してもらうように促してもらいたいと思います。</p>
<p>事務局（課長）</p>	<p>ありがとうございます。ワクチン接種は、コロナ対策の決め手の1つでありますので、市からも呼びかけていきたいと思っております。他にありませんでしょうか。無いようでありますので、次の議題に移る前に先ほど委員から質問のありましたワクチン接種の数値ですが、2回目まで終わっているのが、83.96%とのこと。高齢者の方については、90%を超えておりますので、今後若年層の接種率を上げることで、さらに全体の数値が上がっていくものと考えます。</p> <p>ここで、人権関係の議題について追加の説明があります。生涯学習課長から説明をお願いいたします。</p>
<p>生涯学習課長</p>	<p>先ほどのLGBTのなかで、保護者、家庭における理解促進の機会をとという意見がありました。昨年については、コロナの関係で講演会は開催出来ておりませんが、今後、状況が改善した際には、関係機関と協力をし、講演会等の開催を行っていただければと考えております。</p>

	また、小学生の帽子の統一については、各地区の青少協からの寄贈品であると思いますので、学校側の要望も調整しながら、関係者に今回の意見をおつなぎしたいと思います。
事務局（課長）	ありがとうございます。それでは、次の議題に移ります。 次の議題は、（３）将来の小中学校児童生徒数についてであります。教育委員会より説明をお願いいたします。
教育長	（説明）
事務局（課長）	ありがとうございました。人口推計が一番誤差の少ない統計の1つとも言われております。数字を見ますと非常にシビアな数字だと思います。それでは、意見交換に入りたいと思います。ご意見等ございましたらよろしくをお願いいたします。
委員③	教育の分野で考えますと入学者数が減ることにより、学校運営は厳しくなると思います。また、その先、福島高校に何人入学するのかと考えますと更に厳しい状況が予想されます。これは、教育の問題だけでなく、市全体の問題だと思います。子育て世代がないというのは、教育だけでなく経済や福祉分野等、様々な分野、すなわち街づくりについても影響すると思います。
委員④	福島地区に人口が集まっている現状にあると思います。福島地区以外はどんどん子どもが減ってきています。他の自治体では、移住者の呼び込みで子どもが増えてきているという話も聞きます。移住者が増えるような政策があればいいと思います。
委員①	学校に関していえば、生徒が減っても先生には情熱を持って授業を行ってもらいたいと思います。
委員②	子育て世代が少なくなるというのは、保育園においては凄く大きな影響が出る問題だと思っています。串間市としてもたいへん大きな問題だと思っています。子育て世代を増やしていくためには、やはり雇用の場の創出が必要だと思いますが、なかなか難しいと思います。これといった解決策がない状況だと思っています。
事務局（課長）	ありがとうございます。いま、IターンUターンの政策や雇用の場という意見がありましたが、市長は委員の意見を踏まえまして、今後の考え等ございましたらよろしくをお願いいたします。
市長	全国市長会でも一番大きな議題となっているのが、人口減少問題です。

	<p>日本全体の人口が減少している状況であり、首都圏への一極集中が解消されたとしても、地方に人口が増えないというこの状況を、各自治体においても頭を痛めているところです。子育て支援などの福祉充実だけではなく、雇用の確保や産業振興など、市全体で課題を共有し、しっかりと取り組まなければならないと考えております。</p> <p>学校給食の無償化についてですが、小学校・中学校までの義務教育の間は国が無償化していただきたいところですが、多額の財政負担もあることから困難だと思います。まずは、市として、可能な範囲で支援できればと考えております。</p> <p>今般、国においてもデジタル化を推進しています。デジタル情報網の整備やテレワークの推進などにより、働く場として地方と首都圏の格差は解消されていくと思います。地方に住み、子育てしやすい環境で子育てをしながら働く場所として、串間市が選んでいただけるように、しっかりと情報発信を行い、Iターン、Uターンを呼び込んでまいりたいと考えております。</p>
<p>教育長</p>	<p>小学校によっては、入学児童がない年度が続く学校もあります。現在休校中の学校については、今後どうするかアンケートも行っている状況ではありますが今年度中に方向性を出す必要があると考えています。</p> <p>複式学級になってくると全体的に教員が減ってくることになりしますので、これを防ぐためには、市が雇用している教員を増やしていけば複式学級は解消できますがこれには、かなりの財政負担が生じますので難しい判断になると考えております。また、これは、十分な教育を受ける権利を保障するという観点からもしっかりと見通しと対応が必要になると考えております。</p>
<p>事務局（課長）</p>	<p>ありがとうございます。大変シビアな数字であります。しかし市長からワーケーションやリモートワーク、農業の再生などといったIターン、Uターンを推進していくお話もありました。これに関しましては、大きな政策課題でありますので、分野横断的な連携を図りながら取り組んでいければということではないかと思えます。</p> <p>それでは、この議題については、ここまでにいたしまして、これまでの議題、その他なにかご意見等ございましたらよろしくお願いたします。</p>
<p>委員②</p>	<p>福島高校の新生が60人ぐらいです。最近、色々な場面で福島高校の野球部はなくなったのかと聞かれます。どんだん部活動の数が減っていく。そうすると串間市体育協会の会員も減っていく。スポーツをする人が減っていく。このように人口減少に起因する課題が多くあると思えます。最近、ユーチューブで串間市内の空家情報を提供しているのを見ました。それも移住のきっかけを作る一つの手段かと思えます。</p>



事務局（課長）	<p>市長も重要な政策の1つに移住促進をあげております。ユーチューブ等のSNSを活用した情報発信はもちろん、まず串間市に関心を持っていただく、一度でも来てもらうような工夫が必要である。すなわち関係人口・交流人口拡大に知恵を出し、汗をかかなければならないということだと思います。</p> <p>他にありませんでしょうか。</p> <p>無いようでありますので、以上をもちまして、令和3年度串間市第1回総合教育会議を終了いたします。</p> <p>本日は、ありがとうございました。</p>
---------	--

